

皆様ご存知の通り、附属学校園では、様々な研究に取り組んでいます。しかし、保護者の皆様は、研究とはどのようなことをしているのか、分かりにくいところもあるのではないのでしょうか？そこで、『研究だより』を発刊し、本園が進めている研究活動を保護者の皆様にご紹介しています。

今年度より、「遊びに生きる子どもを育む～遊びの育ちを追いながら～」と研究テーマを新たにし、研究を進めることにしました。

## 子どもの遊んでいる姿ってどんな姿？

幼児教育において、遊びは、心身の発達の基礎を培う重要な学習として、位置付けられています。どのようなきっかけで、遊びが始まり、遊びがどのように変容していくのか、子どもたちの遊びを丁寧に見取っていきたく考えました。まず初めに、子どもの遊びとは何かを考え直すことから始めました。

**皆様は、子どもが遊んでいるとはどのような姿を思い浮かべますか？**

スキップで移動している

友達の遊びを見ている

ブランコに乗っている

砂場で友達と一緒に山をつくっている

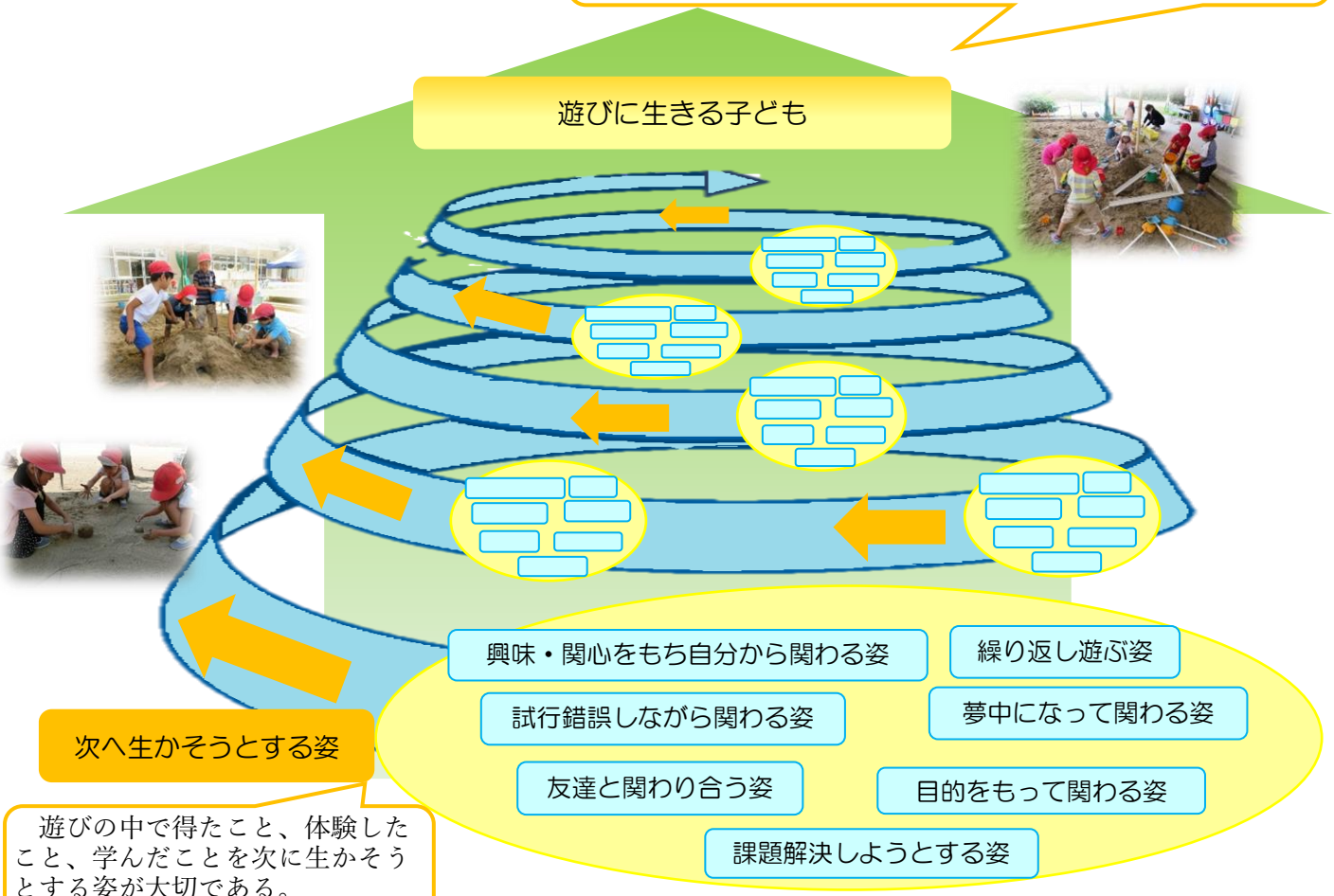


子どもたちにとっては、すべて遊びです。これらの遊びの何を捉えるかということ考えた時、私たちは幼稚園という集団教育の中で支えていきたい遊びを捉えていきたいと考えました。幼稚園という集団教育の中で支えていきたい遊びとは、人やものとの関わりの中で、広がったり深まったり、次へつながっていく遊びではないかと捉え、そのような姿を研究の中で捉えていきたいと考えました。

## 遊びに生きる子どもとは？

次に生かそうとする姿が、また次の遊びにつながり、そしてまた次の遊びに生かしていくことが繰り返され、積み重なっていくことで、遊びに生きる子どもが、育まれるのではないか。

### 遊びに生きる子ども



## 保育研究会ってどんなことをしているの？

令和元年11月9日(土)に保育研究会を行いました。

全国各地から多くの幼児教育関係者の方にご来園いただき、研究に関する様々なご意見をいただいたり、共に学び合ったりしました。今回は、その様子についてお知らせします。

参会者の皆様に、遊戯室へ集まっていただき、研究の動機、目的などを報告します。この時間を設けることで、保育を見る視点を共通理解します。

遊戯室に集まり、研究内容について報告します。研究内容についての討議もします。



8:40	9:10	9:20		11:30	12:00	13:00	14:00	14:30		17:00
受付	趣旨説明	公開保育	研究報告・協議	昼食	保育を語る会	休憩・移動	基調提案	ポスターセッション	講演会	閉会
附属幼稚園 保育研究会							附属平野五校園 共同研究発表会			

「保育を語る会」とは、各学年別に保育を振り返り、討議をする会です。

### <指導助言>

大阪教育大学初等教育講座 中橋 美穂 先生  
 大阪教育大学学校教育講座 小松 孝至 先生  
 大阪教育大学家政教育講座 小崎 恭弘 先生

### <このようなご意見や指導助言をいただきました>

#### 【3歳児】

- ・じっくり遊び、一人一人の遊びが深まっていくことが3歳児では大切である。
- ・片付けがスムーズに行われていたのも、遊びへの満足感や次も遊べると子どもが思っているからではないだろうか。

#### 【4歳児】

- ・つくったものをそのまま残しておくことで、また続きをしたくなるような環境となっていた。
- ・子どもの言葉を引き出しながら、教師も一緒に遊ぶことで、よりこうしたいという思いが出てきていた。

#### 【5歳児】

- ・目的をもって自分のしたいことを試行錯誤しながら、遊ぶ姿がたくさん見られた。
- ・子どもの姿を丁寧に見取りながら、教師の絶妙な言葉掛けや5歳児なりの気付きや試行錯誤につながるような関わりや環境構成が大切である。

午後からは、附属平野五校園（幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校）の共同研究発表会を行いました。昨年度から引き続き、「一人一人の多様な可能性を広げる評価の在り方～主体性を育むための教育目標及び評価指標の作成と活用をめざして～」というテーマのもと、研究を進めています。

評価指標は、子どもの主体性を引き出すための指標であり、どのようなことに視点をあてて子どもの姿を読み取ればよいか、どのように保育を構成するとよいかを振り返るための視点として活用できると考えています。幼稚園での子どもたち姿が他の校種にどのようなつながっているのかを見たり、その後の成長を見通した時にどのような姿を育てていく必要があるのかを見たりする指標にもなるのと考えています。

### <ポスターセッション>

本園の研究について、ポスターにまとめたものと、運動会のドキュメンテーションを展示しました。運動会のドキュメンテーションでは、子どもたちが、遊びの中でどのようなことに楽しさやおもしろさを感じ、遊びを広げ、運動会をつくりあげていったのかを紹介しました。

### <こんな様子でした>

幼児教育関係者だけでなく、様々な校園種の先生方とポスターを介してお話し、貴重なご意見をいただく機会になりました。